

京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程入学試験問題例

1 次試験 外国語（英語）{第 1 外国語用問題}

(注意) 解答は、設問（ローマ数字の I、II、III……）ごとに別の解答用紙を用いること。

問題 I～IIIの全問に解答しなさい。

問題 I

次の英文の下線部(a)～(c)を日本語に訳しなさい。(a)と(b)は一枚目の解答用紙に書き、(c)は二枚目の解答用紙に書くこと。(40点)

本文 500 words / (a) 44 words / (b) 22 words / (c) 61 words

[出典 : Lawrence M. Krauss, *A Universe from Nothing* (New York: Free Press, 2012), pp.9-10 (一部省略)]

問題 II

次の英文を読み、下の設問 1～5 に対して、それぞれ選択肢(A)～(E)の中から最も適切な記述を 1 つ選んで、その記号を解答用紙に記入しなさい。(20点)

本文 848 words

[出典 : Walter Isaacson, *Benjamin Franklin: An American Life* (New York: Simon & Schuster, 2003), pp.5-7]

問題 III

次の文章を英語に訳しなさい。(20点)

花粉や動物の毛、卵のアレルギーの人がいるのに、なぜなんともない人がいるのだろうか？ アレルギー体質で悩んでいる人たちの数は今まで以上に増えていると、多くの研究者が述べている。幼いころから刺激物にさらされると、免疫機能が強化されて、後年そういうものに対してたたかうことができるそうだ。皮肉なことだが、あまりにも清潔すぎる環境はよくないのかもしれない。